

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1134		
科目名	社会学 2		
担当教員	田 昌禾		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現・数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、問題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚-15% A2 異文化適応-10% D1 市民的要素と参加-50% I1 理解・分析と読解-25%		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期～3 発展期		
科目概要・キーワード	社会学には様々な学術的下位領域が存在するが、観光社会学も現在注目されている領域のひとつです。観光産業は21世紀最大の産業になるとも予測されており、観光事例を踏まえながら現代観光の諸問題について考察し、観光に関する基礎的な知識や視点を活かして、多様な社会問題を考察します。授業形態は講義により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れます。 （キーワード） ツーリズム、観光文化、観光産業		
授業の趣旨	■ 副題 現代観光の諸問題について考察し、観光に関する基礎的な知識を学びます。 ■ 授業の目的 ①現代観光への理解を高めるために、観光社会学の基礎知識、観光社会学の歴史や研究方法について理解する。 ②日本における観光産業の活性化のために、現代社会における観光と個人、また社会との相互関係、観光のあり方など社会現象としての現代の観光の実態を理解する。 ③国際観光への理解を高めるために、外国の観光振興の事例を比較しながら、観光の魅力、観光地を開発する過程、観光地の経営戦略などを習得する。 ■ 授業のポイント 社会現象としての観光の本質を探究し、その成果を手がかりに社会の本質を考察します。さらに、講義から学んだ観光に関する基礎的な知識や視点をいかして、今の観光における様々な課題へと追求していきます。		
総合到達目標	■ 本講義では、観光社会学の展開とその役割を認識するために、現代観光を考える上での重要な背景や文化的な側面から考察していく。とくに、観光産業の活性化のために、外国の観光振興の事例を挙げながら観光の魅力、観光地を開発する過程、観光地の経営戦略のあり方などについて検討し、国際観光への理解する能力を身につける。さらに、社会学の観点から考察することにより、社会学全体に及ぶ考え方、見方について自分の言葉で説明ができるように修得する。 ・観光社会学とは何かについて理解し、現代観光の現象について説明できる。（第2回） ・現代観光の変化と現状を理解し、観光社会学の観点から説明できる。（第3回～14回） ・観光振興の具体的な事例を比較しながら、日本の観光について多面的に考察することができる。（第6回～7回、第9回） ・様々な観光問題の実態を把握し、観光社会学の研究方法的観点から述べる事ができる。（第9回、第15回） ・さらに以上の点について、観光社会学の観点から考察することにより、社会学全体に及ぶ考え方、見方について説明ができる。（第9回、第15回）		
成績評価方法	■ 授業理解確認課題2回（20%）：適用ルーブリックA1・A2・D1・I1 （評価の観点）当該単元の授業理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■ リアクションペーパー1回（30%）：適用ルーブリックA1・D1・I1 （評価の観点）授業内容の理解度や社会学に関する諸概念を社会現象に置き換えて説明できるかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■ レポート1回（50%）：適用ルーブリックA1・A2・D1・I1 （評価の観点）社会学に関する知識を危機管理やスポーツ科学専門と関連づけて論じられるかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。		

履修条件	特にありません。（但し、授業中の私語と携帯使用禁止）	
履修上の注意点	初回のガイダンスでは、今後の授業の進め方、授業欠席時の取扱い、レポート課題、中間テストや期末試験等に関する説明を行います。日頃から、社会全般のニュースに関心を持ち、新聞やTV、インターネットなどメディアを通して積極的に情報を収集し、社会学と日常生活との関わりを考えるための基礎知識を構築することが重要です。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する（A1、D1、I1）。 ③予習（120分） シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習（120分） 『社会学2』に関する授業の内容、目的、到達目標を確認する。また、『社会学1』の全般的な内容を復習する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。
	2	①授業テーマ 観光社会学と観光 ②授業概要 現代社会を特徴づける重要な社会現象である観光への理解を深めながら、現代観光の現象についてさまざまな角度から考察していく（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	3	①授業テーマ 観光社会学形成の可能性 ②授業概要 観光という社会現象だけではなく、そこから見えてくる様々な特性について、観光社会学が有する可能性について説明する（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	4	①授業テーマ 観光の歴史（1） ②授業概要 観光の歴史の捉え方について、大衆化以前の観光の歴史、近代観光史、観光の特徴について説明する（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	5	①授業テーマ 観光の歴史（2） ②授業概要 観光の歴史の捉え方について、大衆化以前の観光の歴史、近代観光史、観光の特徴について説明する（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	6	①授業テーマ 観光の動機 ②授業概要 時代や地域による観光動機の違い、観光動機の特性について説明する（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	7	①授業テーマ 旅の始まりから観光へ ②授業概要 旅の始まりから観光への歴史的背景、現在に至るまでの変遷、そして将来の観光の在り方について説明する（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	8	①授業テーマ 『社会学2』授業の中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評 ②授業概要 今までの授業を振り返り、社会学の観点から考察することにより、社会学全体に及ぶ考え方、見方について自分の言葉で分析を試みる（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 今までの授業を振り返り、理解していない部分をメモする。

	④復習（120分） 『社会学2』で理解が不十分な箇所を復習する。
9	①授業テーマ 観光文化 ②授業概要 観光文化の定義や内容を学びながら、その特徴について把握する。また、世界の主要な観光地を事例に歴史、文化、観光の状況と特徴を説明する（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
10	①授業テーマ インバウンド・アウトバウンド観光の事例研究（1） ②授業概要 各グループがインバウンド・アウトバウンド観光に関する「事例研究」プレゼンやレポート作成するにあたり、グローバル観光社会の観点から計画が立てられる。また、自身が体験した観光など各グループの討論でプレゼンの内容や意見などをまとめて確かめる（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 各グループのプレゼンに関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 各グループのプレゼンに関する討論内容や意見の妥当性を第三者の立場から検証する。
11	①授業テーマ インバウンド・アウトバウンド観光の事例研究（2） ②授業概要 各グループがインバウンド・アウトバウンド観光に関する「事例研究」プレゼンやレポート作成するにあたり、グローバル観光社会の観点から計画が立てられる。また、自身が体験した観光など各グループの討論でプレゼンの内容や意見などをまとめて確かめる（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 各グループのプレゼンに関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 各グループのプレゼンに関する討論内容や意見の妥当性を第三者の立場から検証する。
12	①授業テーマ インバウンド・アウトバウンド観光のプレゼン（1） ②授業概要 各グループがインバウンド・アウトバウンド観光に関する「観光計画」について、グローバル観光社会の観点から計画が立てられる。また、プレゼンを通じて各グループの理解や不明な点などが提案できる（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 各グループのプレゼン内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 各グループのプレゼンや討論内容の妥当性を第三者の立場から検証する。
13	①授業テーマ インバウンド・アウトバウンド観光のプレゼン（2） ②授業概要 各グループがインバウンド・アウトバウンド観光に関する「観光計画」について、グローバル観光社会の観点から計画が立てられる。また、プレゼンを通じて各グループの理解や不明な点などが提案できる（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 各グループのプレゼン内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 各グループのプレゼンや討論内容の妥当性を第三者の立場から検証する。
14	①授業テーマ インバウンド・アウトバウンド観光のプレゼン（3） ②授業概要 各グループがインバウンド・アウトバウンド観光に関する「観光計画」について、グローバル観光社会の観点から計画が立てられる。また、プレゼンを通じて各グループの理解や不明な点などが提案できる（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 各グループのプレゼン内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習（120分） 各グループのプレゼンや討論内容の妥当性を第三者の立場から検証する。
15	①授業テーマ 『社会学2』授業総括・到達度確認・レポート講評 ②授業概要 今までの授業を振り返り、社会学の観点から考察することにより、社会学全体に及ぶ考え方、見方について自分の言葉で分析を試みる（A1、A2、D1、I1）。 ③予習（120分） 今までの授業を振り返り、理解していない部分をメモする。 ④復習（120分） 『社会学2』で理解が不十分な箇所を復習する。
関連科目	社会学1（RMGT/SSCS 1133）
教科書	教科書は特に使用しません。プリントを配布します。
参考書・参考URL	授業中に適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.